

**令和7年度瀬戸内さかなブランド化推進業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

項 目	内 容
1	日 時
2	場 所
3	出席委員
4	議 題
5	担当部署
6	開催方法
7	議事内容

令和7年3月19日（水）13時半から15時まで

広島県庁本館4階広島県海区漁業調整委員会室

- ・農林水産局水産課長
- ・総務局施策形成支援チーム担当課長代理（同チーム主任）
- ・農林水産局農林水産ブランド戦略部長
- ・商工労働局観光課観光魅力創造担当監
- ・農林水産局販売・連携推進課長

令和7年度瀬戸内さかなブランド化推進業務の企画提案内容の審査

農林水産局水産課

参集（オンライン併用）

1 審査方法
提案された企画提案書をもとにプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。

2 審査結果

(1) 審査対象者（提案書提出順）

- ①株式会社雨風太陽
- ②合同会社MHDF

(2) 審査対象者の評価値
審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。

(3) 最優秀提案者
最優秀提案者：合同会社MHDF

(4) 各選定委員の主な評価

【A社】

- ・具体的なアプローチ方法はあるが、その全体的な実現性が見えてこないと感じた。
- ・瀬戸内さかなのブランド戦略を十分に理解されていない提案内容だと感じた。新しい取組内容について独創性は感じられたが、想定ターゲットに適していない内容や、実現可能性が低い。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとの様々な調整やオペレーションの稼働に際し、体制についての脆弱性が危惧される。 ・サポーターズクラブの提案は持続性もあり魅力的である。一方で、参加の動機が弱いと感じた。 ・瀬戸内さかなリーグは興味を引くと考えられる。一方で、広島県内で画一的にチームを形成すると、各漁師のこだわりが埋没されることが懸念される。 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に課題の把握等が一定程度できていると感じた。 ・全体戦略に沿った提案内容であり、評価できる。 ・効果的な取組が期待できる。一方で、取組項目によってはさらに深掘りする必要がある。 ・共感店舗の拡大が期待できる。一方で、情報発信についてはターゲットに応じた効果的な手法で実施する必要がある。 ・グルメフェアに参加いただいた方のおいしさの評価をフェア期間中に発信し、次の来店促進につながるよう取組を改善する必要がある。
--	--	---